



市大キャラクター
『ヨッチー』

—横浜市大の学生が、さまざまな地域貢献活動を実践— 地域課題解決に向けて 10 件の取組をスタート！

地域に根ざす公立大学である横浜市立大学は、基本方針のひとつに地域貢献を掲げ、学生のボランティア活動や、地域で活躍できる人材の育成に注力しています。平成 23 年度から継続している「**学生が取り組む地域貢献活動支援事業**」は、「学部・大学院生活、課外活動などで取り組む地域に貢献する研究や活動により、学生が自主的な探求心、コミュニケーション力、積極的な行動力、チャレンジ精神を養うこと」を支援する助成金事業です。文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」※の採択をうけ、27 年度は新たに活動テーマを増やし、審査の結果 10 団体の事業への助成金交付が決定しました。多くの学生が、地域での活動に、学生ならではの視点と行動力で取り組んでいきます。

	団体名	事業名
■自由提案型／神奈川県域内における地域交流・地域研究に関する事業や、自治体への政策提案に資する事業		
1	まちづくりコース鈴木ゼミ	地域情報と魅力発信によるまちへの関心向上と、アートを活かしたまちづくりの定着
2	金沢研究会	金沢区に対する地域資源を活かしたまちづくりと研究調査活動
3	横浜橋通プロジェクト	こども記者による媒体発信を通じた、横浜橋通商店街内外のつながり向上プロジェクト
4	国際都市学系まちづくりコース三輪ゼミ	保育所×地域—つながり力アップ・ワークショッププロジェクト
5	横浜市立大学科学倶楽部	中学生のための科学実験講座
6	看護学科いのちの授業グループ	いのちの授業訪問事業
7	YDC	医学生・看護学生が創る『医療』教育
■課題提示型／大学サテライト拠点「並木ラボ」の活用法や、学生のボランティア活動参加を促す仕組みを提案する事業		
8	中西ゼミ★	まちづくりデザインゲーム並木版の制作・活用を通じた地域活性化
9	並木プロジェクト★	つながるひろがる並木
10	ボランティア支援室 学生スタッフ★	市大生に向けたボランティア活動及び地域貢献参加推進のための情報発信事業

★は新規応募団体 各事業の紹介は裏面に掲載

学生の活動の様子は、ホームページ等で随時ご紹介します。また、この活動の成果は、来年 2 月に公開で開催する成果発表会で報告します。

※ 文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」 自治体等と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学を支援することで、地域再生・活性化の拠点となる大学の形成を目指す文部科学省の事業で、横浜市立大学は平成 25 年度 319 件の申請の中から 52 件のひとつとして採択されました。なお、この事業名は平成 27 年度より「「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（大学COC事業）」のように変更されています。

YCU
横浜市立大学

お問い合わせ先
公立大学法人 横浜市立大学 研究推進課長 竹内 紀充 Tel 045-787-2019

（裏面あり）

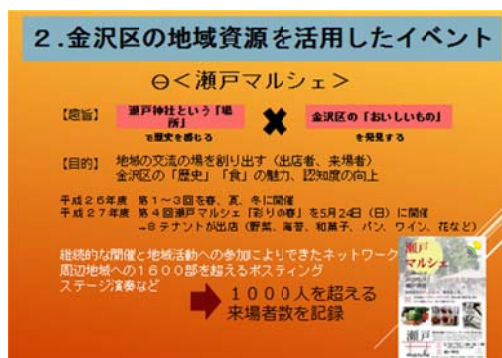
平成 27 年度学生が取り組む地域貢献活動支援事業 採択事業の紹介

地域情報と魅力発信によるまちへの関心向上と、アートを活かしたまちづくりの定着



スマートイルミネーション横浜 2015（住民参加型のアートイベント）の開催をし、WEB ラジオを介してイベントや地域情報を発信することで、地域コミュニティの形成を目指す。

金沢区に対する地域資源を活かしたまちづくりと研究調査活動



地産地消を促進する「瀬戸マルシェ」、「はちのぼ」の運営を通して、金沢区の魅力を区内外の住民へ PR し、地域ににぎわいを持たせる。

子ども記者による媒体発信を通じた、横浜橋通商店街内外のつながり向上プロジェクト



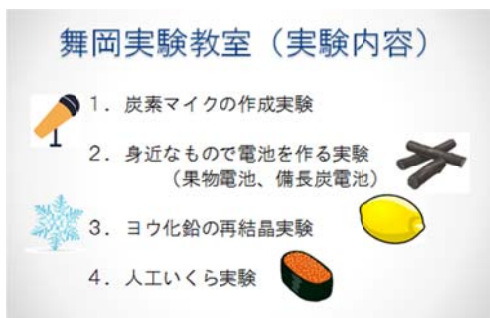
横浜橋通商店街をフィールドにし、小中高生の子ども記者「ぼしっこジャーナル(仮)」を通じ、商店街の魅力を発信。周辺地域との交流促進・情報発信の強化を進める。

つながるひろがる並木



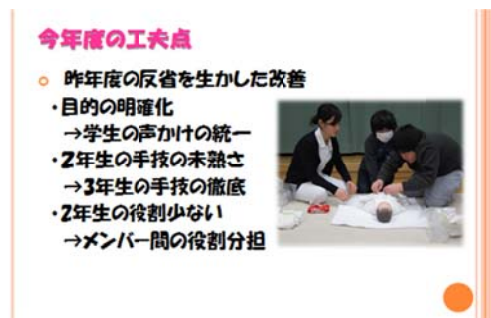
並木ラボを活用してイベントを実施し、並木在住の高齢者のたのしみ・よりどころを創出して世代間交流の場を作るとともに、情報発信をして認知度を上げる。

中学生のための科学実験講座



中学生を対象に木原生物学研究所と八景キャンパスにて実験講座を実施。中学生の自由研究や日本学生化学賞・木原子ども科学賞に応募・受賞をめざす中学生へアドバイスもし、科学への意欲をより高めるきっかけを作る。

いのちの授業訪問事業



小学生がいのちの誕生に関する理解を深め、命の大切さを感じ取り、自分たちがどのような支援を受けて今日まで成長してきたのかを学べる訪問授業を、並木中央小学校で実施。

医学生・看護学生が創る『医療』教育

2011年度より好評を博している 医学生・看護学生による医療の授業



小中学生に医療の仕組みを教えることで医療の適正利用を広めるため、計画的に小中学校への訪問事業を実施する。

まちづくりデザインゲーム並木版の 制作・活用を通じた地域活性化



並木地区住民の、関心とまちづくりに対する意識を高めるため、楽しみながらまちの将来について考える、まちづくりデザインゲームを作成・活用する。

保育所×地域一つながりカアッパ・マップ ワークショッププロジェクト

2015年2月
ありがとうまちあるき@ピッピ



保育所と地域の人が共同して作成したお散歩マップ（ワークショップ）により、地域資源の共有、防犯、保育所と地域のつながりを強化し、共助関係を構築する。

市大生に向けたボランティア活動及び 地域貢献参加推進のための情報発信事業

事業目的	期待される効果	目標・ゴール
<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供によるプロモーション活動 ・参加しやすい環境づくり ・地域と学生との繋がり強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の関心・意欲の喚起 ・参加者の増加 ・学生が新たな価値観の享受する場 	<ul style="list-style-type: none"> ・「市大=ボランティア」の定着 ・地域への周知 ・ボランティア登録者を増やす

学生が積極的にボランティアに参加できるよう、地域と学生のニーズを探ると共に、的確な情報発信をすることで、学生の意識を高める。